

●「コロナ禍に打ち勝ち衆議院総選挙 勝利のための同盟躍進期間(4.1~5.31)」に呼応する映画運動の推進を



▲顕彰碑(諏訪市龍雲寺霊園)

▲伊藤千代子

▲原案図書

映画千代子運動 21.3.25

infomation ⑬★「映画製作を支援する会」事務局

★治安維持法国陪同盟映画千代子チーム 共同発行

担当窓口・藤田 ☎090-4527-1129 / mail:fujitahiro@outlook.com

民主的映画運動の 灯は消さない!

全国に拡大した映画製作資金運動の前進に
支えられ 10月撮影開始へ 監督固い決意

桂監督は、新コロナ下でも伊藤千代子の学習会が25
県60会場で開催され拡大していること、「上映権」者が
200単位(目標の1/4)に到達していることなど、製作
資金を創り出す運動の全国的な展開をさらに勢いあ
るものにしつつ、コロナ禍の克服状況を踏まえて出演
者・ロケ地選定作業を開始しました。

◇全国活動者経験交流集会 5/12-13 治安維持法国
陪同盟国会議員請願デーに合わせて開催予定

□撮影開始 10月10日 (1945年、政治犯釈放日)

◆全国完成試写会 22年3月15日予定
(3・15記念集会に提供)

製作準備状況

- ①主演女優 オーディションで決定済 6月公表
- ②主要キャスト 嵐圭史、竹下景子氏特別出演決定
- ③映画製作スタッフ 撮影監督はじめ 決定済
- ④ロケ地 諏訪・松本中心に確定へ
- ⑤エキストラ募集 5月、募集要項発表
- ⑥主演キャスト入りチラシ 6月以降作成配布
- ⑦フィルムへの上映権者明記 22年1月31日締切

短歌 伊藤千代子銀幕に甦る 上田精一

「伊藤千代子の生涯」を読み終えし若き女教師の目の輝きよ
暴虐に抗い生きし伊藤千代子汝がころざし今に繋がる
変節の夫棄て得ぬ汝が手紙百年隔て我が胸を打つ
訊問に理路整然と応えゆく千代子の言の葉なんと清しき
新しき時代は来ると確信し特高に対峙の伊藤千代子は
弾圧に屈せぬ千代子の青春を再現せんと監督滾りて
文明の心を強く揺さぶりし伊藤千代子の演ずるは誰ぞ
「知は力」学ぶは英語に資本論千代子の視野は広く世界へ
獄窓よりながめし花のジシバリは千代子の心しばしなぐさむ
ジシバリは地中に深く根を張りていま甦る千代子の心
千代子女の短き生の問いかくる「あなたは真に生きていますか」
牛飼いの友と焚火を囲みつつ不屈に生きし千代子語りぬ
(治安維持法国陪同盟長崎県島原支部長・新日本歌人協会会員)

全国で製作・上映実行委員会結成進む

★生地諏訪にオール諏訪のつくる会誕生

3月21日 「伊藤千代子の生涯(仮)映画をつくる諏訪の会」結成。29日 嵐圭史氏歓迎会。5月16日 つどい企画。

委員長=木嶋日出夫(元衆議院議員)、事務局長=藤森守(伊藤千代子ころざしの会会長)就任

★長野県 嵐圭史氏迎えての全県推進委員会結成のつどい 3月28日午後、長野市

★千葉県 全県実行委員会 4月下旬結成へ

★石川県 石川県準備会発足集会 3月28日午前



▲2/2 嵐圭史氏出演協力申出を歓迎する緊急集会

■次ページに「桂監督からの撮影開始メッセージ」

監督・桂壮三郎からのご挨拶

映画・「伊藤千代子の生涯」の今日的意義 こころざし今に生きて、民衆と 平和を愛した伊藤千代子の青春

新型コロナウイルス感染拡大によって撮影中止や中断など経済的損失も重なり日本映画に壊滅的なダメージを与えている。

当然、「伊藤千代子の生涯（仮）」の製作運動にも影響を与えている。しかし、**映画「伊藤千代子の生涯（仮）」は、今日の社会情勢が求め再び戦争と暗黒政治を許さない映画であり、正に社会進歩を進める国民的な映画として製作運動を果敢に前進させています。平和と人権と民主主義を勝ち取る極めて重要な意義をもつ映画として、また、独立プロ運動の平和・人権・民主を継承した作品としても全力をあげて取り組んでいます。**

そして長野県支援者の方々の協力を得ながらロケハンが長野県の松本・諏訪等で精力的に進められています。

また、映画の要と言える魅力あるキャスティングは各劇団の俳優さんとの面接も進み5月頃までに大半のキャストが決定されます。

特に千代子のキャスティングに関しては慎重をもって若い女優さんのオーディションを行っています。現代に蘇る「伊藤千代子」にご期待して頂きたい。竹下景子、嵐圭史さん等ベテラン俳優陣も既に出演が決定されています。

本映画の製作を確実に前進させ完成させるために実行委員会に結集する諸組織・人士とこころざしを一つにする皆様に中心的役割の活動を認識して頂き一回り大きな製作運動を心からお願いする次第です。

さて、現在の反動的な政治状況を見るならば、戦前に民衆を犠牲にしてアジア人民2,000万人、国内で300万人を「戦死」させた絶対的天皇制は、あの

無謀な侵略戦争を反省し責任を表明してきたでしょうか、それはノーと云わなければならない。今日に於いても権力支配層は伊藤千代子が生きた時代と変わらず

天皇専制と治安維持法を是認する悪辣な策動に蠢いています、われわれはそれを許さず、社会進歩の側に立たなくてはなりません。

伊藤千代子は、男性中心の黎明期の社会変革運動のなかに躍り出た23歳の女性党員1号ともいえる女性です。千代子は科学的社会主義理論を身に着けた新しいタイプの女性活動家です。そのために、1928.3.15大規模治安維持法弾圧検挙者の一人となりました。困難な獄中で学習を怠らず獄内の活動家を励まし続け支配権力の変節攻撃とたたかい若い命を落とした治安維持法の犠牲者です。

この映画はその正史に真正面から挑むことをめざす作品で、必ずやいまを生きる若者たちを励まし、時代閉塞の今日を撃つ力になるでしょう。

またこの映画化は弾圧犠牲者の顕彰運動を進める治安維持法同盟運動をはじめとする諸民主団体の運動のすそ野を広げる活動に役立つでしょう。

本年10月クランクインの製作目標を掲げその完成の実現をはかり、全国上映運動を2022年春からスタートさせます。いい映画（文化）には人間の生き方に影響を与える力があり、特に若い人に見て頂きたい映画です。同時に、あらゆる人が鑑賞できる全国公開の場を設けます。

全国の実行委員会の皆様に呼びかけます。

映画製作には多大な製作資金が必要です。映画完成後の上映会を保障する上映債権の普及による資金調達を心から呼びかけます。戦後最悪の民主主義破壊の政治状況と真正面から切り結ぶ映画としていかなる困難性が待ち受けようと、また、予測されようと全力を上げて映画を完成させ上映運動の成功を共に勝ち取りたいと思います。

監督・桂壮三郎

